

キャリア教育・実践的職業教育への取り組み

1. 実践的職業教育への取り組み

企業との授業等における連携の方針	IT システムの業界で、一定以上のシェアを持ち業界標準ともいえるソフトウェア・アプリケーションの開発会社（ベンダー）や、知名度のある資格団体、実際に IT システムを開発している企業との連携を行う。 学校全体の実践的なカリキュラムを構築するため、企業へのヒアリング・委員の派遣等の連携を実施する。さらに授業を実施するにあたり、事前に連携する科目の科目設計から始まり、実際の授業の実施や授業で使用する教材の提供、授業終了後にはその科目評価など多岐にわたり対象企業と連携を行うことで、業界で利用価値の高い知識とスキルを実践的かつ専門的に授業を実施する。
企業との授業等における連携の内容	ベンダーや資格団体の連携においては、当該企業等が提供する教育プログラムに従って作られたカリキュラムにより授業を実施する。また教育プログラムには実施講師のトレーニングや該当資格の取得が推奨されており、担当講師はトレーニングまたは資格取得を実施し、より理解度の高い授業内容を実現している。 システム開発企業との連携では、授業内容の確認と学生のスキル到達目標の設定を企業との打合せにより行う。実際の演習・実習には企業からの講師派遣により、実践的なスキルの教授支援を行う。
連携企業名	CompTIA
	(株)エスシーシー
	日本オラクル(株)
	宇宙技術開発(株)

企業との連携科目	・実践システム開発演習 ・OracleSQL ・OracleDBA
----------	---

2. キャリア教育・就職支援への取り組み

就職支援担当	・専任就職担当がサポート ・ジョブ・カード講習受講済み講師による指導
就職支援体制について	厚生労働省認可 無料職業紹介所 (認可日：昭和 61 年 7 月 29 日)
	・就職支援としての学校行事実施による就職対策実施 ・就職指導担当とクラス担任による個別指導 ・校内ネットワークによる求人情報の開示と応募支援
インターンシップについて	・インターンシップ説明会参加による積極的な参加支援 ・各地域団体のインターンシップ受入れ情報の提供 ・障害保険加入、参加報告による出席管理等の参加指導